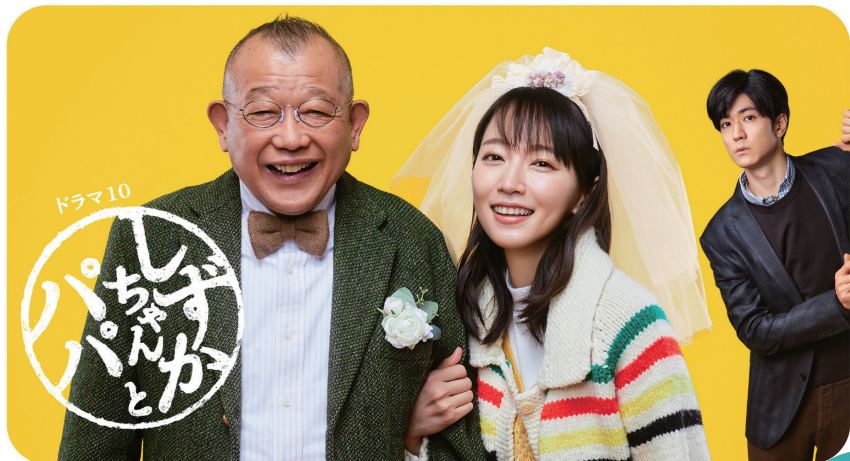


八王子市とNHKは、聴覚障害が壁となることのない共生社会の実現を目指し、NHKドラマ『しずかちゃんとパパ』トークイベントを2023年7月30日（日）に八王子市学園都市センターで開催しました。番組制作者と手話指導者からのドラマ制作秘話や簡単な手話講座などを通じて、コミュニケーションについて学ぶイベントとなりました。当日の会場は満員と、熱気にあふれたイベントの様子を、みなさまにご紹介します。



放送文化基金賞ほか多数受賞!

## ドラマ [ しずかちゃんとパパ ]

ろう者である父・純介（笑福亭鶴瓶）の耳代わり口代わりをつとめてきた娘・静（吉岡里帆）が、圭一（中島裕翔）と出会ったことから、やがて親離れ子離れすることになるまでのてんまつを描くホームコメディドラマです。

### イベント登壇者

- 江副 悟史（ドラマ手話指導、「日本ろう者劇団」劇団代表・俳優）
- はせ 亜美（ドラマ手話指導、手話通訳士）
- 海辺 潔（ドラマ制作統括、元NHKチーフ・プロデューサー）

イベントの概要はこちらから



<https://steranet.jp/articles/-/2202>

手話講座動画で紹介



<https://steranet.jp/articles/-/2214>

トークイベントでの登壇者の言葉をピックアップ

### 番組制作者からの制作秘話

「父 1 人娘 1 人の父子家庭の娘が結婚して家を出て行くまでのお話を作りたい、というのが最初。父と娘の絆が深い親子ってどんなことだろうと考える中で、聞こえないお父さんと、耳代わり口代わりをつとめてきた娘、という形にたどり着きました。」

「日本のろう教育は長らく『口話教育』が中心。聴覚障害者がみな手話を使う訳ではないことなど、取材をして初めて知りました。取材を重ねていくなかで、驚きも感動もたくさんありました。」

### ろう者・コーダの立場から

※コーダ：【CODA...children of deaf adults】の略。聞こえない、もしくは聞こえにくい親をもつ、聞こえる子どもたち

「手話は、形式的に覚えるのではなくて、相手やその時々状況に合わせた表現を実践すればいいと思います。」

「テレビの世界で、手話やろう者に関するドラマが少しずつ増え、だんだん手話が広がってきています。手話に興味を持てただけならうれしいです。ろう者は別の世界に生きる人ではありません。ぜひ一歩踏み出して、私たちの世界に入ってきていただけたら。この世界も楽しいですから!」（江副さん）

「私は、生まれた時から親が聞こえないのが当たり前。手話でしゃべるのも当たり前でした。なので、私は幸せだし、別に聞こえないということが不幸なことだとも思いません。」

「ことばでは説明できないおもしろさがろうの世界にはあります。そのおもしろさを見つけてほしいですし、ぜひコーダのことも知っていただきたいです。また、手話通訳という仕事は、いろんな世界が見えて、すごくおもしろいですよ!」（はせさん）



台本を役者さんにあつた手話に直す作業の工夫などの秘話を紹介。江副さん、はせさんのプライベートトークも。



江副さん、はせさんから簡単に出来る手話を紹介。会場のみなさんと一緒にチャレンジ!



イベント終了後、開催にご協力いただいた大学生や中学生のみなさんとの座談会も開催。

学生座談会はこちらから



<https://www.nhk.or.jp/shutoken/nav/800/72/?cid=nwebhk-tvqc>